



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 鍋屋バイテック会社 (A)

5

## 私たちの企業像を求めて

私たちは創業以来、時代にあわせながら幾度となく自社製品を変えてきました。これまでの450年は、そうした前向きな試行錯誤と自分たちの可能性への挑戦の歴史だったといえます。

10

新しいことに挑戦する人は、失敗する権利もある……。私たちは、失敗を糧として、つぎの新しい挑戦に活かしてきました。つねに時代のニーズに応じてくることができたのも、その糧がしっかりとエネルギーになってきたからだと思います。

多品種少量から多品種微量へ。いま、私たちはオン・デマンド生産をも視野に入れた「寿司バーコンCEPT」というこれまでにない、新しい“ものづくり”のスタイルを確立。そして、お客さまひとりひとりのコミュニケーションを大切に、さらに信頼いただける関係づくりをめざします。

15

製品開発における「顧客志向」とともに、「自然環境との共生」「地域社会への貢献」を企業理念とし、歴史と伝統に誇りを持ち、つねにプロセスを大切にしながら、私たちらしい企業像の実現にじっくりと取り組み、これからもゆるやかに成長していきます。

20

岡本 太一

代表取締役 岡本太一

(同社社案内パンフレットより)

25

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科の河野宏和教授が作成した。本ケースはクラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright ©河野宏和（2006年9月作成、2018年7月改訂）